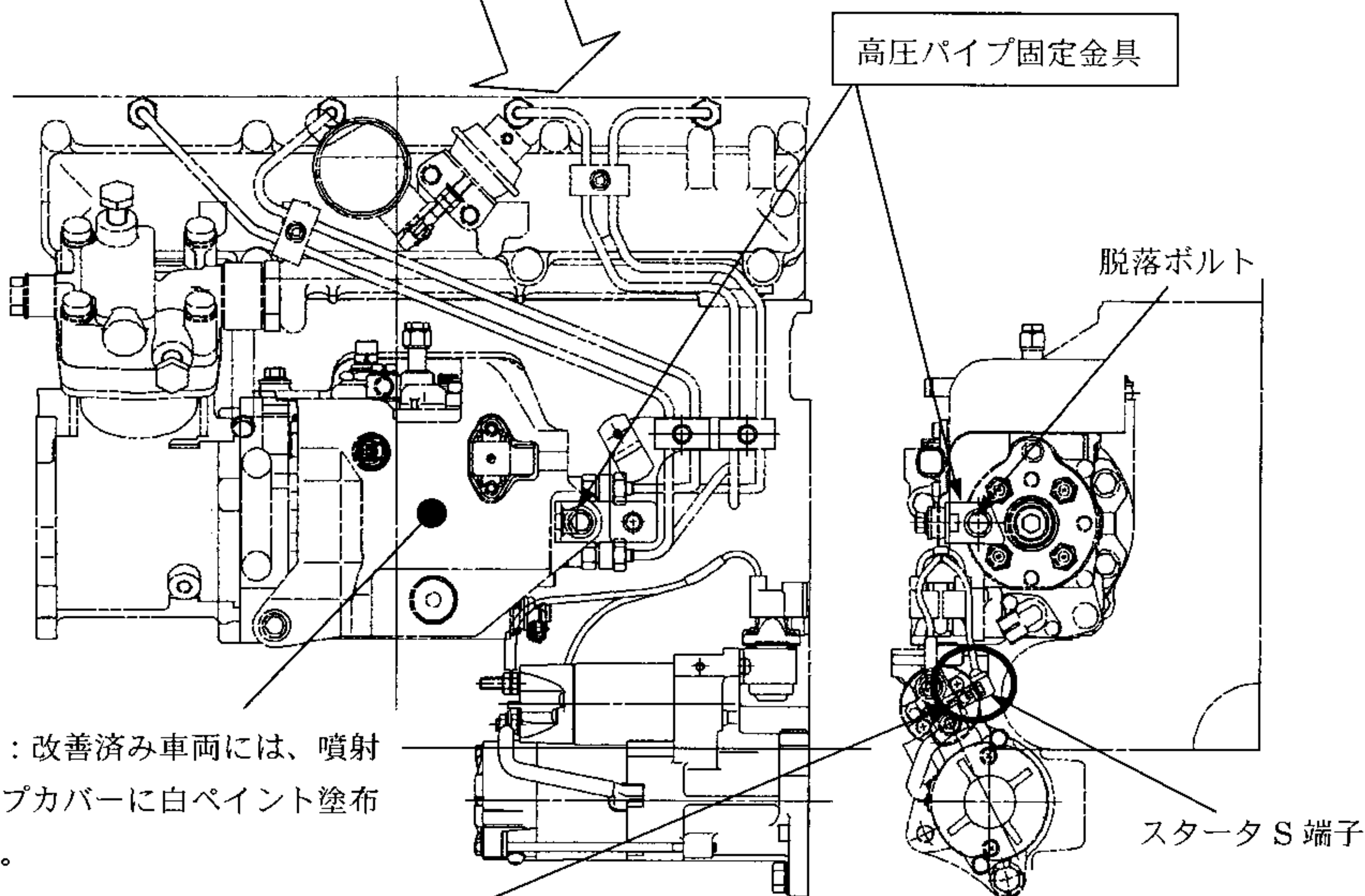


改善箇所説明図



識別：改善済み車両には、噴射ポンプカバーに白ペイント塗布する。

基準不適合発生箇所

原動機の噴射ポンプの後端に取付けられている高圧パイプ固定金具の溶接部の形状が不適切なため、走行時の振動等により当該固定金具を取付けているボルトが緩んで脱落し、最悪の場合、外れたボルトがスタータの S 端子と接触し、エンジン始動時にショートして、ハーネスが焼損するおそれがある。

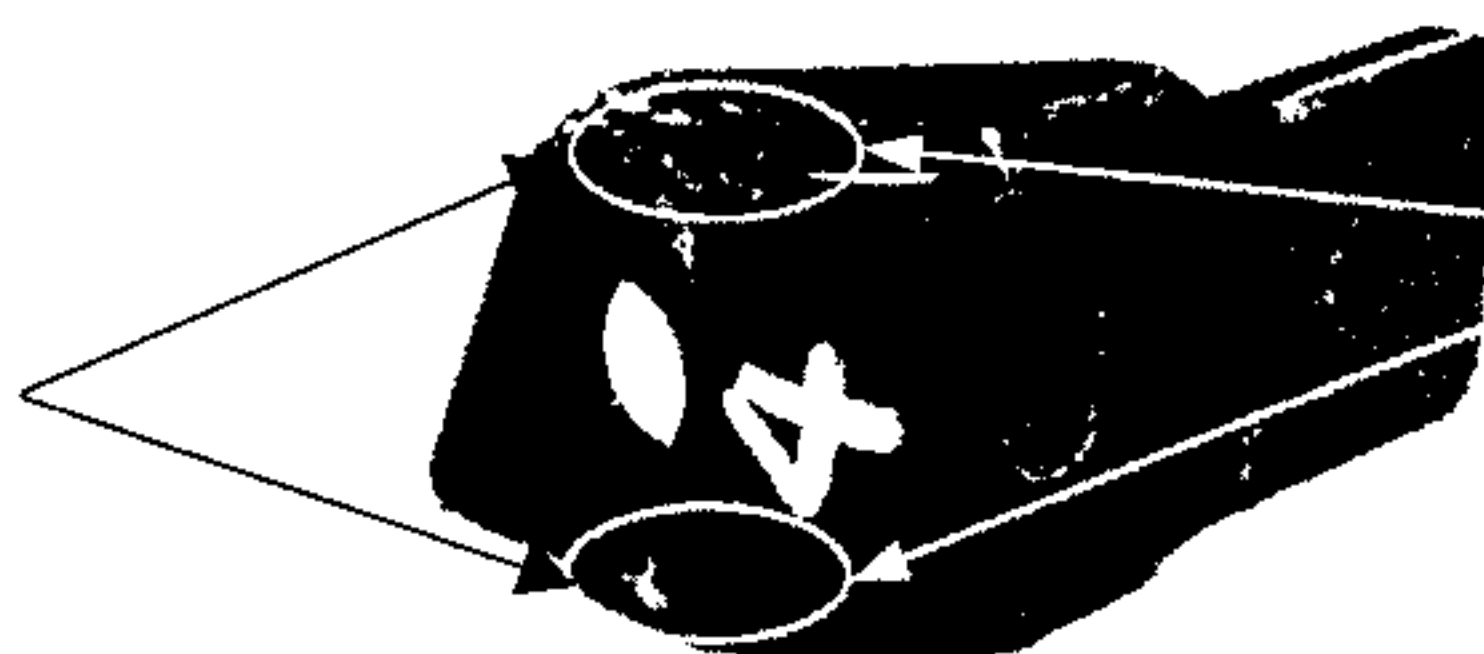
注： 内は交換部品を示す。

改善の内容

全車両、高圧パイプ固定金具を良品と交換する。

改善前

溶接形状が不適切(ビードが残っている。)



改善後

溶接形状が適切(ビードが除去されている。)